



## Press Information

VPR07-014

2007年4月5日(木)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

### **フォルクスワーゲン 2006年度 輸入車登録台数「7年連続No.1」達成**

‘07年度は「高出力&低燃費」な「TSI」エンジン搭載車を拡充し、さらなる認知度アップを図る

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉)の2006年度(‘06.04~‘07.03)国内登録台数が53,410台(JAIA調べ)となり、暦年実績(‘06.01~‘06.12:54,384台)に続き、年度でも7年連続「輸入車ブランドNo.1」となりました。2006年度のフォルクスワーゲン国内登録台数は、国内自動車市場全体が低迷する中、前年度(‘05.04~‘06.03:53,849台)とほぼ同じレベルで推移しました。これは「ゴルフGTI」をはじめ、昨年、積極的に投入した新車効果(ポロGTI、ジェッタ、ゴルフR32、パサート、パサート ヴァリアント、クロスポロ、イオス)が寄与した結果です。

車種別では、SUVテイストを付加したクルマの先駆けとなった「クロスポロ」が、「ポロ」全体のおよそ15%を占める人気車種になったことに加え、よりパワフルな1.6リッターエンジンを搭載した車種を新たに追加したことで、「ポロ」シリーズ全体の商品力アップにつながりました。また、「ゴルフ」には最強モデルの「ゴルフR32」が新たに追加されたことで、「ゴルフGTI」と合せて「ゴルフ」全体の約4割を占める人気モデルとなっています。一方、上級セダンでは「ジェッタ」の登場により、国産、輸入セダンからのお乗換えが進みました。「車格より品格」を合言葉に登場した新型パサート、パサート ヴァリアントの場合、特にワゴンセグメントでは再び高い人気を集めています。上級オープンカー市場に参入した「イオス」は、輸入車が強い同市場で独自の5分割式ハードルーフを採用したクルマとして独自の存在感を放っており、お洒落でライフスタイルを重視するお客様から高い支持をいただいています。

今年に入ってから「高出力で低燃費」という、相反する課題を高次元で両立した「TSI」シリーズの第1弾「ゴルフGT TSI」を導入。発売2ヶ月で既に累計で約2,200台の受注となる大ヒット商品になっています。また4月10日(火)から、全モデルに「TSI」エンジンとDSG 6速トランスミッションを搭載した7人乗りミニバン「ゴルフ トゥーラン」の販売が始まることで、「TSI」人気に一層の拍車がかかることを期待しています。なお、JAIAが発表した2007年第1四半期(‘07.1~3)の「輸入車モデル別新車販売台数」では、「ゴルフ」が7,005台と2位以下を大きく引き離し、不動の1位を維持しています。

第2四半期以降のフォルクスワーゲンの活動は、「高出力で低燃費」な「TSI」エンジン搭載車の導入を拡大し、お客様認知度のさらなる向上を図ってまいります。また商材面では、今年の夏までに外観デザイン及びエンジンを大幅に変更した高級SUV「トゥアレグ」を導入するほか、年内には今年3月にジュネーブ モーターショーで発表された新型「ゴルフ ヴァリアント」の投入も予定しています。このように今後もフォルクスワーゲンでは、既存車種の刷新や拡充を図りながら、お客様から選ばれるブランドとして、8年連続「輸入車ブランドNo.1」を目指します。



Golf GT TSI

# TSI



Golf Touran TSI

※TSI, DSG はフォルクスワーゲングループの登録商標です。